

(様式3)

自己評価票

作成日 平成29年5月26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102183		
法人名	株式会社 伊藤建設		
事業所名	グループホーム ひかり	ユニット名	A棟
所在地	〒310-0914 茨城県水戸市小吹町267-43		
自己評価作成日	平成29年1月30日	評価結果 市町村受理日	平成29年6月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kihon=true&JigyosyoCd=0870102183-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成29年3月27日	評価機関 決済日	平成29年5月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>認知症になっても自分らしさと誇りを大切に、少しでも長く自立した生活を送れるよう支援に努めています。 お互い助け合いながら役割を担い生活できるよう支援しています。 季節を感じられるような行事や食事を楽しみ、職員共々笑顔で生活できるよう心掛けています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は幹線道路沿いに位置し、反対側には工場や住宅があり、畑や林も視界に入り、中庭には犬も飼われている。 管理者と職員は利用者本位のサービスに努め、理念に沿って笑顔で利用者の介護支援に努めている。 利用者の日々の暮らしを生活状況報告書として毎月家族等に送付している。 職員は利用者に日々寄り添い、排泄においては夜間も職員によるトイレ誘導により、利用者はリハビリパンツから布パンツになり、利用者の自立支援に努めるほか、家族等の経費負担減にも留意している。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所入り口に掲示し、出勤時確認し実践に努めている。	事業所設立時に管理者と職員で決めた地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を、事務所の入り口に掲示している。 職員は朝の申し送り時に確認し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	フラダンスのボランティアが定期的に来訪してくれたり、町内の盆踊りなどの行事にも浴衣を着て参加している。	利用者は、地区主催の盆踊りに浴衣で参加したり、地域の医療施設の祭に参加して交流している。 地域の人から季節の野菜等の差し入れがあるほか、近隣の羊やポニーの飼育農家を散歩時に訪問している。 時折フラダンスのボランティアを受け入れ、利用者の楽しみとなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の際に参加者に理解して頂けるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月ごとに地域住民代表の方や他施設の方に参加して頂き入居者状況や活動状況など報告し、参加者から頂いた意見を活かしサービスの向上に努めている。	運営推進会議は、市職員や元長寿会会長、地域住民、他法人グループホームの職員等が参加し、年6回行っている。 会議では、行事や利用者の状況、事業所の取り組みなどを報告するとともに、協議事項を提示して参加者全員から講評を得ている。 市職員から身体拘束に関する質問があり、実情を説明し、職員間で話し合いをして、身体拘束をしないサービスに努めることを確認している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者は直接市の介護保険課に出向いて相談し助言を得るなど協力関係を築けるよう努めている。	運営基準や介護保険等について、分からないことがあったら、電話や窓口で訪問して助言を得るなど親密な関係を構築している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除宣言を掲示し、会議等で研修を行い職員が身体拘束をしないケアについて正しく理解し日々のケアに活かしている。	身体拘束排除宣言を掲示している。 身体拘束マニュアルを作成して年1回内部研修を行い、身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。 研修に参加できない職員には、研修記録を回覧して、自己学習に努めさせている。 現在身体拘束を行っている利用者はいないが、万が一の時に備えて同意書や経過観察記録、再検討記録等の書類を整備している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議等で高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持ち、虐待がおこらないよう防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	会議等で研修を行い、日常生活自立支援事業を利用されている方がいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族に不安や疑問等は解りやすく説明し理解を得ている。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月ご家族への生活状況報告書を送付をさせて頂き意見や要望が出易くなるよう努め、面会時・電話でも日々の様子をお伝えし、意見等を伺っている。介護相談員を受け入れている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は毎朝の申し送りや月1回の会議で意見や提案を聴き、その都度話し合い検討して改善している。	管理者は日頃から話しやすい雰囲気を作るとともに、職員会議時に意見を聴いたり、無記名アンケートを行ったりしている。 職員から出た意見は迅速に運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の状況把握に努め研修会参加の機会を設けたり、資格取得の為の働きかけを行い、資格取得者には資格手当を支給している。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりの力量の把握に努め毎月の会議時研修を行い、多くの職員が外部の研修へ参加できるよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設とのお互いの運営推進会議への参加や近隣の行事の参加にて交流できよう努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の気持ちを大切にし、不安な事困っている事要望を導き出せるようコミュニケーションをとり、安心して生活できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人の意向を尊重しながらもご家族の困り事や不安を納得のいくまで話し合い、より良い関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の要望、ご家族の要望や情報をもとに職員間で話し合いをし、ご本人に必要な支援ができるよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族のように互いに協力し助け合いながら生活する関係づくりを続けていけるよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のひかりだよりにてホームでの様子を伝え、気軽に来所して頂けるよう心掛け、ご家族と共に協力してご本人を支える事ができるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来所時にはご家族との時間を大切にしながらして頂けるよう居室でゆっくり過ごせるよう支援している。	入居時に利用者本人や家族等からの聴き取りや日々の生活の中での会話の中、申し送りノートなどから利用者の馴染みの関係を把握している。 面会時にはお茶を出してゆっくりと話ができるようにするとともに、馴染みの店に買い物に行くなど関係を継続できる取り組みをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生会や行事を通じて関わりが持てるよう支援している。日々の生活の中でも職員が見守りし、ご利用者同士支え合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も家族からの相談等があれば支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者との日々の関わりや会話の中から思いや要望をくみ取り、本人本位の支援ができるよう努めている。	職員は知りえた利用者の思いや意向を申し送りノートで周知、共有している。 思いを表出することが難しい利用者の中には表情や態度、つぶやきなどから読み取ったり、職員が提案した中から選んでもらうなど、できるだけ利用者本位にできるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者との関わりや記録などから情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録や職員間での情報交換にて日々の様子や変化、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活状況の把握に努め、できる事とできない事を見極め、少しでも自立した生活が送れるような介護計画作成をしている。	介護計画は、家族等や利用者の意向を取り入れ、計画作成担当者が作成し、3ヶ月ごとにモニタリングを行い、基本1年で見直しを行っている。 利用者の体調等に変化が生じた場合には随時計画を見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録、月間管理表、排泄チェック表、申し送帳、毎月の会議・日々の職員間での情報を交換する事で状態の共有ができ、実践・介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	パンの訪問販売、訪問美容を利用したり、かかりつけ医以外の病院受診も家族に代わり対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域の代表の方より情報を提供してもらったり、近隣の公園やスーパーを利用できるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人ご家族の希望によりかかりつけ医を決めている。定期健診や随時の往診により、適切な医療を受けている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診は家族等の付き添いを基本としている。協力医療機関の医師による定期健診が月2回あるとともに、訪問診療は随時行っている。家族等とは体調に変化があった時に電話等で報告し、職員間では申し送りノートや受診ノートに記録している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護にご利用者の状態を伝えアドバイスを受けている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は安心できるような顔に行き、病棟の看護師と情報交換をし、ご利用者の状態に応じて退院等の相談をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りは行っていない為グループホームでの生活が難しくなったご利用者は、主治医やご家族と相談し対応している。	看取りを行わない事業所であり、家族等へは「重度化した場合における対応に関する指針」に基づいて、利用者が重度化した場合における対応を明記し、同意書を得ている。 重度化した場合のマニュアルを作成するまでには至っておらず、職員の研修も行われていない。	重度化した場合に備えて、マニュアルを作成するとともに、職員の研修を行うことを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてのマニュアルがあり、会議等での研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練を行い、災害に備えて食料品等の備えも行っている。	夜間想定を含む避難訓練を年2回以上行っており、反省会を行い、訓練の記録を作成するとともに、反省点等を残している。 米や水等の備蓄品を一覧表を作成して保管している。 非常時には近隣住民の井戸水がもらえるよう話をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会議等でプライバシーに関する研修を行い、トイレや入浴の際にも羞恥心や自尊心に配慮したケアを行っている。	職員はプライバシーに関する研修に参加し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに配慮している。 個人情報に関する同意書があり、書類等は鍵のかかる書棚に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の難しいご利用者には質問などしながら自分の思いが表現できるよう努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日のスケジュールは決まってはいるが、一人ひとりの希望に合った1日が過ごせるよう支援している。起床時間や昼休み、就寝時間などそれぞれ体調に合わせている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容を利用しご本人の希望を聞いてもらったり、外出の際はお化粧品をしたり服も外出着に着替える等の支援をしている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けはできるご利用者にはお願いしている。毎月の誕生会にはお寿司の出前を頼み好きな物を食べてもらい、ハンバーガーやお弁当などもメニューに取り入れている。	宅配業者が立てて運んでくる食材を基に、利用者の嗜好に合わせて職員が工夫して食事を作っている。 利用者はテーブル拭きや食器拭きなどできる範囲で手伝いをしている。 毎月の誕生会には寿司の出前をとったり、正月には利用者と職員で手作りのおせちを作っている。 職員は利用者と楽しく話をしながら食事を摂っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は個人記録に記入し把握している。食事形態も一人ひとりに合わせ提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりに合わせた口腔ケアを行っている。夜間は義歯を預かり洗浄を行い、必要に応じて訪問歯科を利用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し一人ひとりの排泄パターンを把握し声掛けや誘導を行っている。できるだけトイレでの排泄ができるよう支援している。	利用者一人ひとりの生活リズムや排泄パターンを排泄チェック表から把握し、さりげない声かけをしながらトイレ誘導をし排泄の自立を支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日ヨーグルトを飲み、リハビリ体操を行い便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴剤を使用し、女性の入浴には必ず女性スタッフが対応している。順番も希望に合わせている。	入浴は週2回午後からを基本としているが、利用者の意向に合わせていつでも入れるように支援している。 入浴剤等を取り入れ、入浴を楽しめるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後はお昼寝の時間を設けているがご利用者の意思を尊重している。就寝時間や部屋の明かりなど一人ひとりに合わせた支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の効能や副作用を再確認する意味での勉強会を行ったり、症状の変化に気付く事ができるよう日頃の状態観察に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの得意な事好きな事を把握し、歌の好きなご利用者にはCDで音楽をかけたりコーヒーの好きなご利用者にはお茶の時間に入れてあげたりしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には散歩やドライブをしたり初詣や花見、紅葉狩りなど四季の移り変わりを楽しめるよう支援している。	天気の良い日には近所へ散歩に出かけ、近隣住民と挨拶を交わしたり、職員と買い物に出かけたりしている。 年間行事計画を立てて、事業所の車でお花見や紅葉狩りに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スーパー等で好きなものを選び支払いができるよう支援している。初詣でお賽銭の金額を聞き、渡している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望によりご家族へ電話をかけたり年賀はがきを出したりご家族や友人とのやり取りができるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月季節感のあるカレンダーや壁飾りをご利用者と一緒に作成している。玄関には季節の花を飾り、廊下も広く車椅子での移動もスムーズにできるようにしている。日差しが強い時はブラインドを下げ光の調節をしている。	玄関には季節の花や観葉植物が飾られている。 居間兼食堂には、利用者と職員で手作りした季節を感じさせる貼り絵や利用者の習字の作品が飾られている。 小上がりの4畳の畳の間があり、思い思いに寛げるようになっている。 トイレや浴室は清潔に保たれている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内には椅子やソファがあり、思い思いに過ごす事ができるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にはなるべくご本人の慣れ親しんだ物を持ってきて頂くようお願いしている。その他家族の写真を飾ったりしている。	居室にはエアコンやベッド、洗面台、カーテン、整理箆筒、寝具、ナースコールが備え付けられている。 管理者は使い慣れた物を持参してもらえよう説明しており、利用者はテレビや箆筒、家族の写真や人形を持ち込み、居心地の良い部屋を作っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に移動できるよう廊下・トイレ・浴室等に手摺をつけている。居室のタンスには何を入れるのか分かるようにラベルを付けている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームひかり

作成日 平成29年6月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	重度化に向けてのマニュアルが作成されておらず、職員に対しての研修も実施できていない。	重度化マニュアルを作成する。	重度化についての研修を行う。 他のグループホームでの重度化についての情報を収集する。	6か月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。